

|         |  |
|---------|--|
| 第 学年単元名 |  |
| 単元の目標   |  |
| 最終の言語活動 |  |

## 最終の言語活動におけるやり取りのイメージ

|       |       |
|-------|-------|
| イメージ1 | イメージ2 |
|-------|-------|

## 発問の構成と具体の発問

| 発問                     | 分類             | 場面 | 具体の発問                                      |
|------------------------|----------------|----|--|
| (目的・場面・状況に応じた) 活用を促す発問 | a 言語材料の使用      |    | ▶単元で扱う言語材料を用いて問い掛け、伝えたい事実やその時の気持ちを考えさせます。  |
|                        | d 内容構成         |    | ▶目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。                |
|                        | e 英語表現の工夫      |    | ▶相手に適切に応じたり、自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。  |
|                        | f コミュニケーションスキル |    | ▶アイコンタクトやジェスチャーなど、相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。 |

### Let's check! 最終の言語活動

- 児童にとってこんな活動になっていますか？
- 興味・関心を持つことができる。
- 達成感を味わうことができる。
- 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。
- 事実だけでなく、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。
- 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。
- やり取りによって相手のことをよく知ることができる。

### Let's check! 発問

- つくった発問を確認してみましょう。
  - 発問によって伝えたいことを繰り返し考えさせることができますか。
  - コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。
  - 児童の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。
  - 児童が発問に答えられないときの支援は考えましたか。
- 支援例・ペアやグループで意見交流をさせよう
- ・過去の言語活動やチャンツなどから既習表現を想起させよう
  - ・写真や絵カード、動画などの視覚的な提示を用意しよう

|         |  |
|---------|--|
| 第 学年単元名 |  |
| 単元の目標   |  |
| 最終の言語活動 |  |

最終の言語活動におけるやり取りのイメージ

|       |       |
|-------|-------|
| イメージ1 | イメージ2 |
|-------|-------|

発問の構成と具体の発問

| 発問                    | 分類             | 場面 | 具体の発問                                      |
|-----------------------|----------------|----|--|
| 考えの形成を促す発問            | a 言語材料の使用      |    | ▶言語材料を用いて問い掛けたり、答えさせたりします。                 |
|                       | b 題材についての考え    |    | ▶単元の題材に対する自分の考えを持たせます。                     |
|                       | c 考えの共有と再考     |    | ▶題材についての考えを共有し、他者の意見を受けて自分の考えを深めさせます。      |
| (目的・場面・状況に応じた)活用を促す発問 | d 内容構成         |    | ▶目的・場面・状況に応じた伝え合う内容を考えさせます。                |
|                       | e 英語表現の工夫      |    | ▶相手に適切に応じたり、自分の考えや気持ちを伝えたりするための表現を考えさせます。  |
|                       | f コミュニケーションスキル |    | ▶アイコンタクトやジェスチャーなど、相手に伝わりやすい話し方や聞き方を考えさせます。 |

Let's check! 最終の言語活動

- 生徒にとってこんな活動になっていますか？
- 興味・関心を持つことができる。
  - 達成感を味わうことができる。
  - 「誰に」「何のために」という相手意識や目的意識を持つことができる。
  - 事実だけでなく、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。
  - 新出の言語材料や既習表現を使って自由にやり取りの内容を工夫できる。
  - やり取りによって相手のことをよく知ることができる。

Let's check! 発問

- つくった発問を確認してみましょう。
- 発問によって伝えたいことを考えさせ、伝え合う活動を行うことができますか。
  - コミュニケーションで使う英語表現に気付かせることができますか。
  - 多様な意見を踏まえて考えを深めさせることができますか。
  - 生徒の相手意識や目的意識が高まる発問になっていますか。
  - 生徒が英語による発問の意味を理解できますか。
- 支援例…日本語での発問、ペアで確認、視覚的な資料の提示